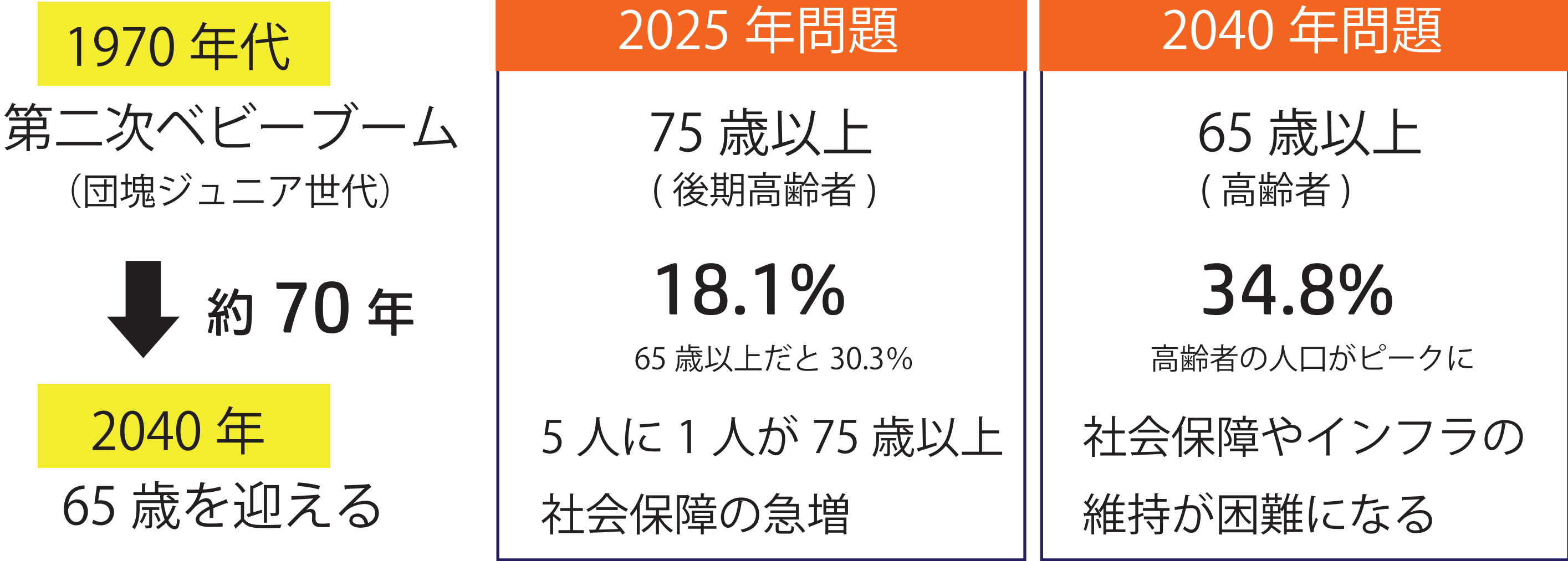


SF Prototyping in Nagaoka

— 長岡市を中心とした地方都市が抱える課題と、SF プロトタイピング小説『Nagaoka 2047』が起こす読者の意識変容に関する研究 —

【研究の背景】

日本は現在、「2040 年問題」に代表される複合的な社会問題に直面している。
※2040 年問題について↓

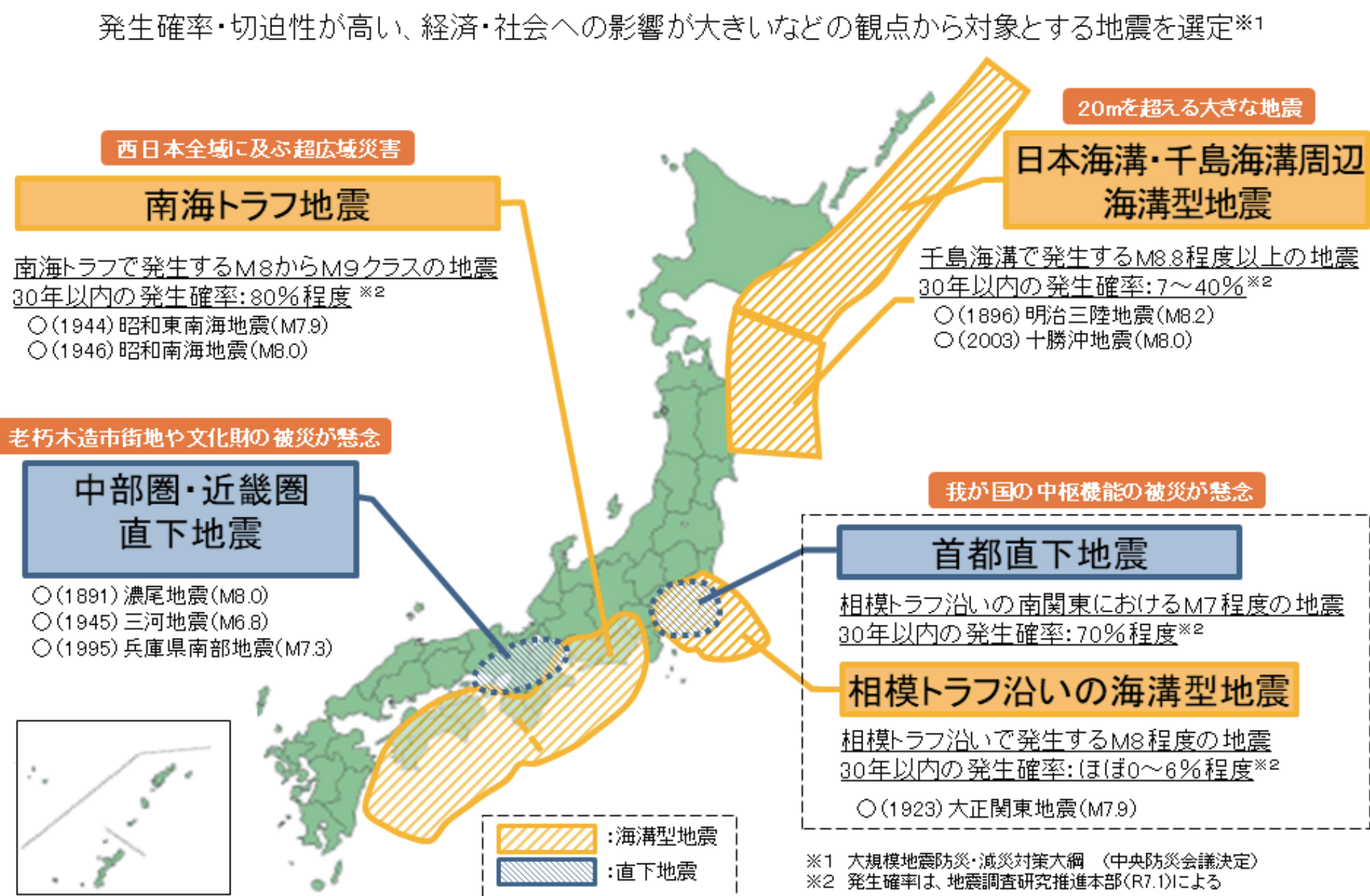


2035 年：男性の 1/3、女性の 1/5 が未婚になると推測されている。

2053 年：日本の総人口が一億人を下回ると推計されている。

また、大規模地震も高い確率で発生するとされている。

中央防災会議が対象としている大規模地震



内閣府防災情報/想定される大規模地震

←※想定される
大規模地震について

特に以下の二つは
30 年以内に発生する
確率が高く、この研究
でも取り扱っている。
※例↓

- ・南海トラフ地震 (80%)
- ・首都直下地震 (70%)

【研究の目的】

【研究の背景】で扱った様々な問題に対して、人々がより当事者意識を持つ契機をつくる。



社会問題などの複数の問いかけを含んだフィクション作品(小説形式)を制作し、その作品が読者に与える影響(意識変容)を実証的に調査する。

この小説が内包する問いかけ(主題)は以下の四つ↓

①東京一極集中のリスク

東京一極集中・・・

日本の資本、資源、活動が首都圏に集中している状態のこと。

②人口減少を前提としたまちとは

③食料自給問題

シルバー民主主義・・・

少子高齢化により有権者人口に占める高齢者の割合が増加することで、高齢者層の政治的影響力が高まること。

④シルバー民主主義の是非

小説の作成・研究は SF プロトタイピング という手法を用いて実行される。

【SF プロトタイピングとは】

〈SF プロトタイピング→Science Fiction Prototyping〉



未来の社会や技術のビジョンをストーリー形式で描くことで現実の課題解決のヒントを得ようとする手法。
官民・国内外を問わず広く活用され始めている。

メリット	デメリット
クリエイティビティの加速	未来の不確実性
ビジョン共有・戦略の可視化	知見・データには限界がある
未来課題のリハーサルが可能	フィクションと現実の乖離
組織文化・人材育成に好影響	実践上のハードル

SF プロトタイピングの
主要ステップ↓

STEP0：【準備】

STEP1：【仮説】

STEP2：【科幻】

STEP3：【収束】

STEP4：【実装】

Sci-Fiプロトタイピング研究所/SFプロトタイピングとは

科幻・・・

中国語で SF の意

【仮説】を基にワークショップを行い、SF ストーリーを作成する。

目的
←